

都市再生整備計画 事後評価シート

はやま ちく
麓山地区

令和8年2月

福島県郡山市

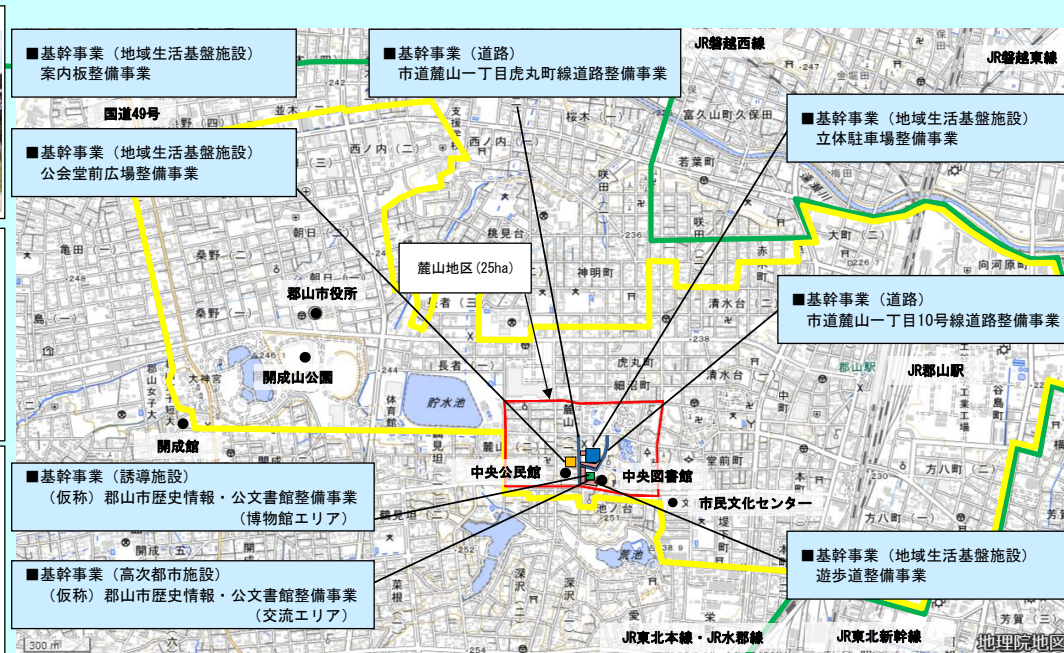
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福島県		市町村名	郡山市		地区名	麓山地区			面積	25ha		
交付期間	令和2年度～令和6年度		事後評価実施時期	令和7年度		交付対象事業費	3,172.3百万円	国費率	0.50				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 誘導施設((仮称)郡山市歴史情報・公文書館整備) 道路(市道麓山一丁目虎丸町線整備、市道麓山一丁目10号線整備) 地域生活基盤施設(立体駐車場整備、遊歩道整備、公会堂前広場整備)										
		提案事業	—										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	—		事業名			削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
		提案事業	—		—			—		—			
	新たに追加した事業	基幹事業	高次都市施設((仮称)郡山市歴史情報・公文書館(交流エリア)) 地域生活基盤施設(案内板設置)		施設の機能に応じた整備するため事業追加 施設への道程を利用者に案内するため事業追加			指標1「博物館利用者数」目標値達成に寄与		—			
		提案事業	—		—			—		—			
交付期間の変更	当初	令和2年～令和6年		交付期間の変更による事業、 指標、数値目標への影響			—		—				
	変更	—		—			—		—				
2)都市再生整備計画に記載した目標を 定量化する指標の 達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	博物館利用者数	人/年	4,997	H30	50,000	R7	—	58,000	○	あり なし	誘導施設(博物館)に加え、高次都市施設(地域交流センター)を合わせた施設として歴史情報博物館を整備したことで、利用数の増加がみられた	—
	指標2	歩行者通行量	人/日	417	R1	500	R7	—	579	○	あり なし	中央図書館と中央公民館の間に歴史情報博物館を整備するとともに、遊歩道を整備したことで、歩行者通行量の増加がみられた	—
指標3	歴史・文化遺産の満足度	点	72.0	R1	72.5	R7	71.0	73.3	○	あり なし	歴史・文化遺産を保全、整備活用し、情報発信の拠点となる歴史情報博物館整備や、公会堂前広場整備等により、歴史・文化遺産項目の満足度の向上につながった	—	
3)その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標) による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標	—											
4)定性的な効果 発現状況	・本事業で整備した公会堂前広場では、歴史的建造物である公会堂を活かしたイベントが開催され、賑わいと交流を生み出す空間として利活用が図られている												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	市民意見リーダー(歴史・文化遺産の満足度)		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				○		今後も市民意見リーダーによる調査を継続し、市民意見について博物館事業等への反映を図る			
	官民連携による取組	住民説明会 歴史・文化遺産フォーラム		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				○		施設整備が完了したことから、今後は博物館企画展等にに合わせて講演会等を実施予定			
	持続的なまちづくり体制の構築	日本遺産「一本の水路」プロモーション協議会 MLA連携調整会議		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				○		日本遺産「一本の水路」プロモーション協議会等との連携により、今後も歴史・文化遺産を活かしたまちづくりに取り組む			

様式2-2 地区の概要

麓山地区(福島県郡山市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
大目標: 日本遺産構成文化財をはじめとする歴史・文化遺産を活かしたまちづくりを推進し、「郡山型コンパクト&ネットワーク都市構造」の形成を目指す	博物館利用者数	単位: 人/年	4,997	H30	50,000	R7	58,000	R7
目標1: 誘導施設の整備により、都市機能の充実を図り、「歴史と緑の生活文化軸」の形成を推進する	歩行者通行量	単位: 人/日	417	R1	500	R7	579	R7
目標2: 回遊性を高め、人々が集い交流し、賑わいあふれるまちあるき空間の形成を図る	歴史・文化遺産の満足度	単位: 点	72.0	R1	72.5	R7	73.3	R7
目標3: 歴史・文化遺産を活かし、誇りと魅力あふれるまちづくりを推進し、シビックプライドの醸成を図る								



まちの課題の変化	<p>【郡山中心拠点地区の機能強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史・文化遺産を保全、整備活用し、情報発信の拠点となる歴史情報博物館を整備した <p>【回遊性を高める賑わいとまち歩き空間の創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> 立体駐車場や周辺道路の整備により、まち歩き空間や交通結節点としての機能が向上した 豊かな歴史・文化遺産を活かし、回遊性を高めるためのガイダンス施設機能を整備した <p>【シビックプライドの醸成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史的建造物である公会堂を活かした広場を整備し、魅力ある都市的空間、シンボルの形成を図った
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<p>【郡山中心拠点地区の機能強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> 交流と賑わいを創出する博物館事業を展開し、博物館利用者数の増加を図る <p>【回遊性を高める賑わいとまち歩き空間の創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> 周辺文化施設との連携を推進し、文化クラスター(文化集積地)としての機能強化を図る ICTの利活用や、デジタルアーカイブの充実ににより、市全域の魅力を発信し、回遊性の向上やネットワークの強化を推進する <p>【シビックプライドの醸成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本遺産「一本の水路」プロモーション協議会等との連携により、誇りと魅力あふれるまちづくりを推進する